



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)後藤 勇治 (TEL)03(3899)2101
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	13,779	7.9	1,777	11.4	1,817	12.1	1,253	13.2
2022年3月期	12,771	8.2	1,595	10.7	1,620	10.8	1,107	11.4
(注) 包括利益	2023年3月期 1,248百万円 (11.7%)		2022年3月期 1,118百万円 (△2.8%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	402.98	—	8.5	8.8	12.9
2022年3月期	358.33	—	8.0	8.3	12.5
(参考) 持分法投資損益	2023年3月期 一百万円		2022年3月期 一百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	21,247	15,591	72.3	4,931.68
2022年3月期	20,252	14,509	70.6	4,594.54
(参考) 自己資本	2023年3月期 15,366百万円		2022年3月期 14,293百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	2,287	△1,028	△988	8,991
2022年3月期	1,974	△690	△936	8,720

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	171	15.3	1.2
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	186	14.9	1.3
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		16.5	

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	3.2	830	3.0	850	2.7	580	3.6	186.43
通期	14,300	3.8	1,840	3.5	1,880	3.4	1,320	5.3	424.30

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	3,420,000株	2022年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	304,207株	2022年3月期	309,024株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	3,111,005株	2022年3月期	3,089,880株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	11,784	7.8	1,374	11.0	1,557	11.0	1,089	12.2
2022年3月期	10,931	7.1	1,237	8.5	1,403	8.1	970	9.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	350.09	—
2022年3月期	314.16	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年3月期	19,121		13,833		72.3	4,439.66		
2022年3月期	18,164		12,826		70.6	4,123.08		

(参考) 自己資本 2023年3月期 13,778百万円 2022年3月期 12,826百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,700	2.5	740	3.5	510	4.0	163.93
通期	12,100	2.7	1,600	2.7	1,120	2.8	360.01

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念などわが国経済を取り巻く環境には厳しさが増しております。

このような環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様と従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高は13,779百万円（前期比7.9%増）、営業利益は1,777百万円（前期比11.4%増）、経常利益は1,817百万円（前期比12.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,253百万円（前期比13.2%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）の世界規模での発生に伴い影響を受けておりましたが、外来・入院・手術・検査等が回復傾向にあるため、安定配送を目的とした人的資源の拡充や新規取引先拡販にも努めたことにより医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は3,640百万円（前期比3.9%増）、セグメント利益は481百万円（前期比15.4%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズにお応えすると共に、きめの細かい営業活動を継続いたしました。またコロナ禍では感染防止に努めつつ出来る限りの対応を行ったことにより「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」共に好調に推移いたしました。一方、利益面では世界的な原材料価格の上昇に加え、エネルギーや輸送費の高騰が続いており、自助努力による合理化に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は5,978百万円（前期比8.7%増）、セグメント利益は836百万円（前期比44.3%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備並びに消火設備の配管工事及び保守点検業務を行っております。保守点検及びそれに伴う修繕業務は安定した売上を確保しております。設備工事は補助金を活用した新規の工事受注に努めており、合わせて大型物件も完工となりました。

これらの結果、売上高は1,725百万円（前期比52.9%増）、セグメント利益は264百万円（前期比35.3%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、コロナ禍ではありましたが地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動を図ることによりレンタル売上が順調に推移いたしました。

また訪問看護事業所は、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップを図り、業績は順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は965百万円（前期比3.2%増）、セグメント利益は14百万円（前期比78.9%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷（東京都杉並区）」におきましては、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、COVID-19の感染予防とまん延防止を第一とした施策を徹底することにより、入居者様やご家族様への「安心」・「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましても、コロナ感染防止に努めつつ地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に対応することにより稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は350百万円（前期比2.5%減）、セグメント利益は29百万円（前期比191.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は21,247百万円（前連結会計年度末比994百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が271百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が206百万円、ソフトウェアが217百万円、投資有価証券が483百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は5,655百万円（前連結会計年度末比86百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が70百万円、未成工事受入金が108百万円増加し、固定負債のその他のうちリース債務が204百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は15,591百万円（前連結会計年度末比1,081百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と配当金の支払い等により利益剰余金が1,067百万円増加し、自己株式が13百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度において、現金及び現金同等物は271百万円増加し、当連結会計年度末残高は8,991百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、営業活動により得られた資金は2,287百万円（前期比313百万円増）となりました。

これは、税金等調整前当期純利益が1,791百万円となり、減価償却費932百万円、法人税等の支払額528百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、投資活動により使用した資金は1,028百万円（前期比337百万円使用増）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出568百万円、無形固定資産の取得による支出531百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、財務活動により使用した資金は988百万円（前期比51百万円使用増）となりました。

これは、リース債務の返済による支出35百万円及び配当金の支払額による支出769百万円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、COVID-19の感染拡大を契機に、人々のライフスタイルや顧客の需要環境にも様々な変化が生じています。従来のビジネスモデルを基盤としつつも、新しい「しくみ」や「価値」に目を向け更に進化させていくことを通じて、社会に貢献する幅を広げてまいります。

働き方改革を軸として既成概念にとらわれない、新たな時代に対応できる企業集団となるべく実効的な取組みを強化してまいります。グループ全従業員の安全に最大限配慮しつつ、多様な経営課題を抱える医療機関の真のビジネスパートナーとして、商品・サービスの安定供給体制の維持に努めることによりエッセンシャルワーカーとしての使命を果たしてまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高14,300百万円（前期比3.8%増）、営業利益1,840百万円（前期比3.5%増）、経常利益1,880百万円（前期比3.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,320百万円（前期比4.4%増）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループが営む事業は、現時点において国内取引に限定されており海外での事業活動がないことから、当面は日本基準を継続して採用する予定であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,760,258	9,031,480
受取手形、売掛金及び契約資産	2,538,261	2,732,102
商品及び製品	107,335	91,249
未成工事支出金	67,588	67,675
原材料及び貯蔵品	62,708	64,260
その他	79,568	93,905
貸倒引当金	△869	△13,781
流動資産合計	11,614,850	12,066,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,245,732	2,410,453
減価償却累計額	△1,155,594	△1,066,009
建物及び構築物(純額)	1,090,138	1,344,444
機械装置及び運搬具	487,483	611,435
減価償却累計額	△414,400	△453,170
機械装置及び運搬具(純額)	73,083	158,264
工具、器具及び備品	2,569,765	2,768,694
減価償却累計額	△2,293,582	△2,463,579
工具、器具及び備品(純額)	276,182	296,115
土地	3,462,663	3,462,663
リース資産	2,116,313	1,959,272
減価償却累計額	△943,496	△1,053,533
リース資産(純額)	1,172,816	905,739
建設仮勘定	255,792	96,089
有形固定資産合計	6,330,677	6,263,377
無形固定資産		
ソフトウェア	9,628	227,191
電話加入権	1,314	1,314
その他	81,965	256
無形固定資産合計	92,909	228,762
投資その他の資産		
投資有価証券	982,981	1,466,139
長期貸付金	14,990	14,150
長期前払費用	129,487	123,367
退職給付に係る資産	350,613	318,861
繰延税金資産	204,967	200,311
その他	531,409	565,387
貸倒引当金	△605	△67
投資その他の資産合計	2,213,845	2,688,148
固定資産合計	8,637,432	9,180,288
資産合計	20,252,282	21,247,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,488,642	2,559,641
リース債務	689,112	599,552
未払法人税等	295,350	311,887
賞与引当金	176,600	178,200
その他	578,108	730,021
流動負債合計	4,227,813	4,379,302
固定負債		
繰延税金負債	35,993	6,021
リース債務	605,863	401,360
役員退職慰労引当金	802,500	846,000
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	65,148	17,889
固定負債合計	1,514,650	1,276,416
負債合計	5,742,464	5,655,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	553,518	559,412
利益剰余金	13,831,980	14,899,006
自己株式	△873,024	△859,505
株主資本合計	13,948,655	15,035,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272,069	308,173
退職給付に係る調整累計額	72,768	22,824
その他の包括利益累計額合計	344,837	330,997
非支配株主持分	216,326	225,370
純資産合計	14,509,818	15,591,462
負債純資産合計	20,252,282	21,247,181

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	12,771,787	13,779,777
売上原価	6,597,875	7,066,989
売上総利益	6,173,912	6,712,787
販売費及び一般管理費		
販売手数料	38,362	41,768
旅費及び交通費	403,981	415,593
役員報酬	302,198	344,616
給料	1,994,427	2,067,244
福利厚生費	375,698	421,487
賞与引当金繰入額	158,308	147,690
退職給付費用	61,321	61,130
役員退職慰労引当金繰入額	44,730	43,500
株式報酬費用	7,766	17,771
減価償却費	144,043	204,183
その他	1,047,864	1,169,947
販売費及び一般管理費合計	4,578,703	4,934,932
営業利益	1,595,208	1,777,855
営業外収益		
受取利息	1,773	1,643
受取配当金	17,295	20,788
受取家賃	10,200	12,336
仕入割引	3,875	4,827
雑収入	4,965	14,005
営業外収益合計	38,110	53,601
営業外費用		
支払利息	8,253	6,131
賃貸原価	1,692	1,692
雑損失	2,392	5,864
営業外費用合計	12,338	13,688
経常利益	1,620,980	1,817,768
特別利益		
固定資産売却益	1,916	—
特別利益合計	1,916	—
特別損失		
固定資産除却損	72	1,304
関係会社株式評価損	—	24,967
特別損失合計	72	26,272
税金等調整前当期純利益	1,622,824	1,791,496
法人税、住民税及び事業税	510,182	544,855
法人税等調整額	△5,363	△17,742
法人税等合計	504,818	527,113
当期純利益	1,118,005	1,264,382
非支配株主に帰属する当期純利益	10,801	10,698
親会社株主に帰属する当期純利益	1,107,203	1,253,684

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,118,005	1,264,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,885	36,104
退職給付に係る調整額	△6,745	△51,597
その他の包括利益合計	140	△15,493
包括利益	1,118,145	1,248,889
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,109,916	1,239,845
非支配株主に係る包括利益	8,229	9,044

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	436,180	528,801	12,879,260	△933,142	12,911,099
当期変動額					
剰余金の配当			△154,483		△154,483
親会社株主に帰属する当期純利益			1,107,203		1,107,203
自己株式の取得				△336	△336
株式報酬制度による自己株式の処分		24,717		60,455	85,172
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	24,717	952,720	60,118	1,037,555
当期末残高	436,180	553,518	13,831,980	△873,024	13,948,655

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	263,226	78,897	342,124	208,097	13,461,320
当期変動額					
剰余金の配当					△154,483
親会社株主に帰属する当期純利益					1,107,203
自己株式の取得					△336
株式報酬制度による自己株式の処分					85,172
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,842	△6,129	2,712	8,229	10,942
当期変動額合計	8,842	△6,129	2,712	8,229	1,048,497
当期末残高	272,069	72,768	344,837	216,326	14,509,818

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	436,180	553,518	13,831,980	△873,024	13,948,655
当期変動額					
剰余金の配当			△186,658		△186,658
親会社株主に帰属する当期純利益			1,253,684		1,253,684
自己株式の取得				△323	△323
株式報酬制度による自己株式の処分		5,894		13,842	19,736
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5,894	1,067,026	13,518	1,086,439
当期末残高	436,180	559,412	14,899,006	△859,505	15,035,094

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	272,069	72,768	344,837	216,326	14,509,818
当期変動額					
剰余金の配当					△186,658
親会社株主に帰属する当期純利益					1,253,684
自己株式の取得					△323
株式報酬制度による自己株式の処分					19,736
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	36,104	△49,943	△13,839	9,044	△4,795
当期変動額合計	36,104	△49,943	△13,839	9,044	1,081,644
当期末残高	308,173	22,824	330,997	225,370	15,591,462

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,622,824	1,791,496
減価償却費	889,560	932,038
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	44,730	43,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,519	12,374
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,900	1,600
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	544
受取利息及び受取配当金	△19,069	△22,431
支払利息	8,253	6,131
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,915	0
無形固定資産除却損	72	1,004
関係会社株式評価損	—	24,967
売上債権の増減額 (△は増加)	△48,262	△193,306
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△105,396	14,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	76,407	70,998
その他	△4,674	116,303
小計	2,481,910	2,799,667
利息及び配当金の受取額	19,471	22,527
利息の支払額	△8,253	△6,131
法人税等の支払額	△518,420	△528,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,974,706	2,287,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
有形固定資産の取得による支出	△571,230	△568,985
有形固定資産の売却による収入	5,520	—
有形固定資産の除却による支出	△86,887	—
無形固定資産の取得による支出	△26,568	△531,228
投資有価証券の取得による支出	—	100,026
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	△10,000
長期貸付金の貸付による支出	△700	—
長期貸付金の回収による収入	1,045	1,238
その他の支出	△12,808	△19,326
その他の収入	1,366	247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690,264	△1,028,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△35,800
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	5,000
リース債務の返済による支出	△783,059	△769,934
自己株式の取得による支出	△336	△323
配当金の支払額	△153,503	△187,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936,899	△988,495
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	347,543	271,222
現金及び現金同等物の期首残高	8,372,714	8,720,258
現金及び現金同等物の期末残高	8,720,258	8,991,480

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 各報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社にサービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎としたサービス別セグメントから構成されており、「医療用ガス関連事業」、「在宅医療関連事業」、「医療用ガス設備工事関連事業」、「介護福祉関連事業」、「施設介護関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「医療用ガス関連事業」は、医療用酸素ガス、麻酔用ガス及びその他医療用ガス全般の販売をしております。

「在宅医療関連事業」は、在宅酸素療法用酸素濃縮器、持続陽圧呼吸療法用機器、在宅人工呼吸器等のレンタル及び販売を行っております。

「医療用ガス設備工事関連事業」は、医療用ガス配管工事の設計・施工及び医療用ガス配管設備保守点検等を行っております。

「介護福祉関連事業」は、介護福祉関連用品、機器等のレンタル、販売及び住宅改修、訪問看護・居宅介護支援事業所の運営及びそれに付帯する事業を行っております。

「施設介護関連事業」は、有料老人ホーム、通所介護施設の運営及びそれに付帯する業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,502,636	5,500,510	1,128,546	936,164	359,603	11,427,461	1,344,325	12,771,787
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	84,470	—	—	84,470	—	84,470
計	3,502,636	5,500,510	1,213,017	936,164	359,603	11,511,932	1,344,325	12,856,258
セグメント利益	568,956	579,857	195,878	70,928	10,018	1,425,639	169,569	1,595,208
セグメント資産	1,414,211	2,543,448	264,054	336,003	1,246,973	5,804,691	63,291	5,867,982
その他の項目								
減価償却費	96,478	709,516	1,791	11,187	20,252	839,226	388	839,615
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	166,534	941,203	16,802	17,934	235	1,142,710	3,647	1,146,358

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,640,355	5,978,802	1,725,313	965,997	350,502	12,660,970	1,118,807	13,779,777
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	86,708	—	—	86,708	—	86,708
計	3,640,355	5,978,802	1,812,021	965,997	350,502	12,747,678	1,118,807	13,866,485
セグメント利益	481,158	836,897	264,973	14,999	29,198	1,627,227	150,628	1,777,855
セグメント資産	1,589,400	2,295,628	270,321	354,012	1,241,278	5,750,640	64,210	5,814,851
その他の項目								
減価償却費	122,512	722,924	5,510	15,128	19,697	885,773	1,210	886,983
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	445,967	700,923	38,867	46,227	1,752	1,233,739	8,537	1,242,276

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	11,511,932	12,747,678
「その他事業」の区分の売上高	1,344,325	1,118,807
セグメント間取引消去	△84,470	△86,708
連結財務諸表の売上高	12,771,787	13,779,777

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,425,639	1,627,227
「その他事業」の区分の利益	169,569	150,628
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の営業利益	1,595,208	1,777,855

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,804,691	5,750,640
「その他事業」の区分の資産	63,291	64,210
全社資産(注)	14,384,300	15,432,330
連結財務諸表の資産合計	20,252,283	21,247,181

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金、売上債権、土地建物等であります。

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他事業	調整額(注)	連結財務諸表計上額
減価償却費	839,226	388	49,945	889,560
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,142,710	3,647	362,294	1,508,652

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に営業所等の設備投資額であります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他事業	調整額(注)	連結財務諸表計上額
減価償却費	885,773	1,210	43,362	930,346
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,233,739	8,537	96,799	1,339,075

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に営業所等の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	4,594円54銭	4,931円68銭
1株当たり当期純利益金額	358円33銭	402円98銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,107,203	1,253,684
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,107,203	1,253,684
普通株式の期中平均株式数(株)	3,089,880	3,111,005

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	14,509,818	15,591,462
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	216,326	225,370
(うち非支配株主持分)	(216,326)	(225,370)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	14,293,492	15,366,091
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,110,976	3,115,793

(重要な後発事象)

該当事項はありません。